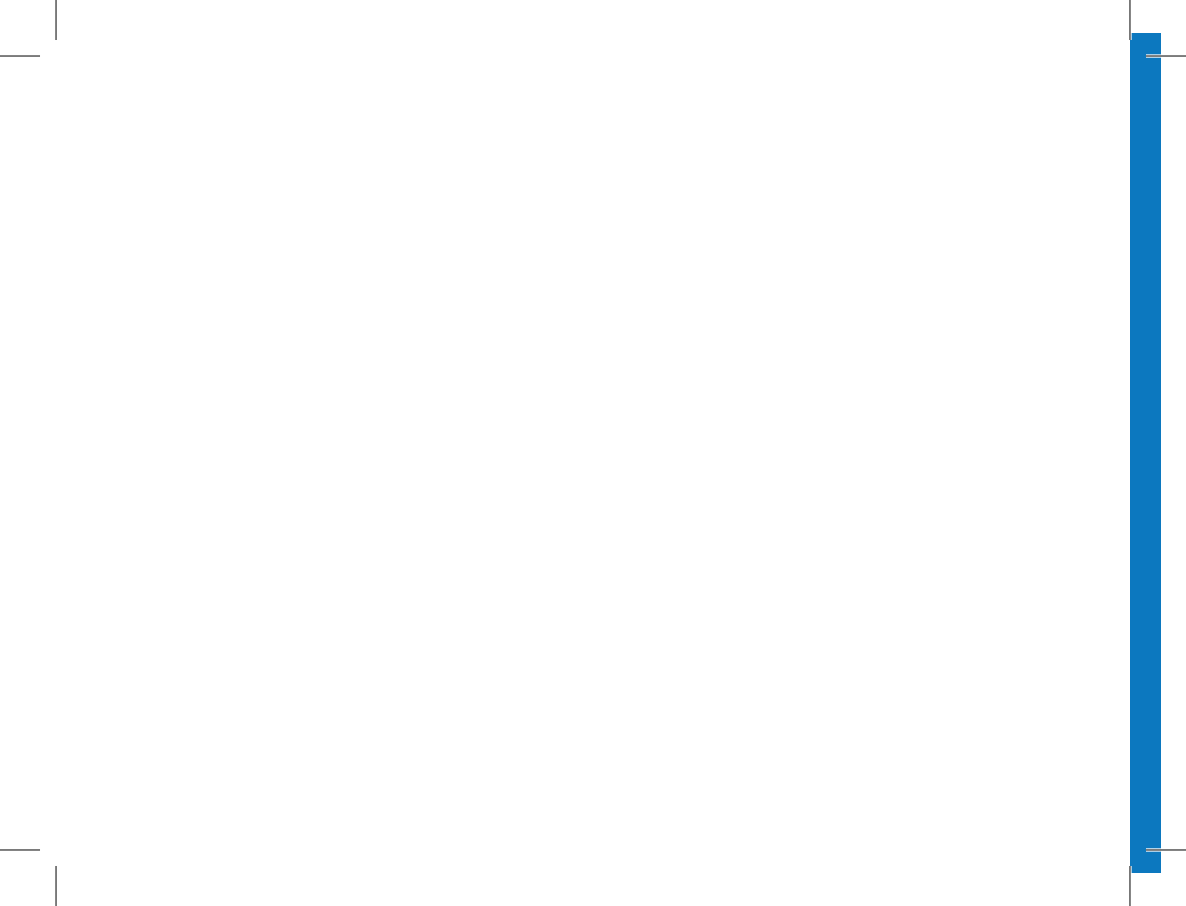


ユーザーガイド.

 ORCAM | orcam.com |    日本語



オーカムマイリーダーユーザーガイド OrCamへようこそ

このユーザーガイド（以下、本書）では オーカムマイリーダーを使いこなしてユーザーの自立を最大限に高める方法を説明します。

© 2020 OrCam Technologies Ltd. All rights reserved.

OrCam® は、OrCam Technologies Ltd. (以下、オーカム社)の商標およびブランド名であり、オーカム社は本書および/またはオーカムマイアイに関連して作成されたその他の文書におけるあらゆる権利およびすべての知的財産権を保有しています。

当該文書は、著作権、特許権、商標権、ノウハウ、企業秘密、国際条約を含みこれに限定されない適切な知的財産権で守られています。本書の利用者に譲渡されるライセンスおよび権利はありません。また本書は、オーカム社の唯一かつ排他的な財産であるものとします。

本書のいかなる部分も、オーカム社から許可を得ることなく、販売、再販、配布、再生、ライセンス、レンタル、リースを含む (それに限定されない) いかなる商業的目的においても、使用、複製、翻訳、変換、変更、適合、表示、検索システムへの保存、伝達、などのいかなる行為も認められません。

オーカム社は、「現状のまま」提供されている本書の内容の正確性または完全性について、明示的または黙示的な表現または保証を行いません。また、この文書または本書に関連して提供される可能性のある製品に対して表示されるエラーまたは誤りについて、一切の責任または法的責任を負いません。オーカムのデバイスは、視力障害のある人の日常生活を改善することを目指して開発されたものです。

しかし既存の支援の方法あるいは形式の代わりになるものではありませんので、生命または健康が危険にさらされている

状況や、金銭的な損失に結びつく可能性のある状況では、信頼すべきではありません。オーカム機器は、車や自転車の運転中、または重機の操作中など危険を伴う場合には絶対に使用しないでください。

本社

OrCam Technologies
5 Kiryat HaMada St.
Jerusalem 9777513
Israel
+972.2.591.7800

米国/カナダ

OrCam Inc.
1115 Broadway, 11th floor
New York, NY 10010
1.800.713.3741

日本

OrCam Technologies Ltd.
日本営業所
東京都中央区銀座1丁目
22-12
藤和銀座1丁目ビル8F

英国

OrCam UK.
60 Gresham Street
London EC2V 7BB
0800.358.5323

[f](#) [t](#) [v](#) | www.orcam.com/ja | japan@orcaml.com

印刷: オーカムマイリーダー-2, Software Version 9.1 -
JA, 2020年1月DOC000079

目次

安全のための注意事項	04
準備をしましょう	06
実際に使ってみましょう	13
快適に使いましょう	19
エンドユーザー利用規約	25
製品保証	26

本書は、<https://www.orcam.com/ja/user-area/> からオンラインで閲覧することも、PDF およびオーディオファイルとしてダウンロードすることができます。

本書では、OrCam **MyReader 2**をオーカムマイリーダー（または本機、本製品）と表記 します。

オーカム社 カスタマー サポート

地域の販売店あるいは営業担当者にお問い合わせください。

***その他のお問い合わせはこちらから：**

japan@orcam.com

安全のための注意事項

本機を使用する前に、この注意事項をしっかりと読み、危険な状況を回避するとともに、本機の理想的な性能を確実に活用できるようにしてください。

本機を丁寧に扱ってください。落とす、熱や水、湿気にさらす、改造する、傷つけるなどの行為を行うと、破損することがあります。本機の外装ケースを開けないでください。

本機は、周囲の温度が0度から40度、湿度が10パーセントから 90パーセント、高度が海拔2,000メートルまでの大気圧（700ヘクトパスカル）で動作するように設計されています。この範囲外で使用すると、破損する可能性があります。

本機の保管、輸送は、温度が0度から40度、湿度が5パーセントから 90パーセント、大気圧が700ヘクトパスカルから1,060ヘクトパスカルの環境で行ってください。

本機は耐水ではありますが防水ではありません。つまり、本機は短時間の小雨または霧雨に耐える

ことができますが、濡らすことはできるだけ避けてください。本機は、大雨、海岸、プール、浴室またはシャワー付近では使用しないでください。本機を液体に沈めたりしないでください。IP（International Protection）コード：IP22。

本機が汚れた場合、または複数のユーザーが使用した後は、掃除してください。カメラのレンズは絶対に指で触れないでください。レンズを掃除する場合は付属のマイクロファイバー布やメガネ洗浄液を使用してください。研磨材は使用しないでください。

本機が家庭用洗剤、エアゾールスプレー、溶剤、アルコール、アンモニアなどの化学物質に触れないようにしてください。本機の使用に伴いアレルギー反応が生じた場合は、かかりつけの医師または医療機関にご相談ください。

本機の操作で問題が発生した場合、ケースやレンズが割れた場合、または本機に不具合がある場合は、修理対応窓口にご連絡ください。自分で修復しようとししないでください。

本機を修理または保守できるのは、資格のある担当者のみです。

許可なく修理を行うと、保証が無効になる可能性があります。

内蔵バッテリーをご自分で交換しようとししないでください。本機を損傷し、火傷あるいは怪我の恐れがあります。電池の耐用年数は平均3年間です。（平均して毎週3回充電する場合）その後はバッテリーの状態に応じて交換の必要性が生じます。

充電は付属の充電器のみをご使用ください。別の充電器を使用すると、保証が無効となり、本機に重大な傷害を引き起こす可能性があります。コネクタを充電用USBポートに無理やり差し込み、ボタンを強く押ししたりしないでください。そのような行為は、保証対象外の損傷の原因となる可能性があります。コネクタが容易に接続できない場合は、ポートに障害物がないかどうかを確認し、そのポートに適したコネクタであることを確認してください。

オーカム社が提供していないソフトウェア、ハードウェア、その他の機器とは併用しないでください。

本機を磁界にさらすと、本体を損傷したり、データが消去されたりすることがあります。

本機を使用または充電するときは、通常、本体が熱くなります。本体が過度に熱い、バッテリーの液漏れがある、または焦げ臭いがある場合は、速やかに充電器の接続を解除し、本機の電源を切り、カスタマーサポートにご連絡ください。

本製品は、安全規格FCC（アメリカ、連邦通信委員会）に適合していると認定されており、安全に使用できる事が認められております。詳しくは本説明書の「安全規格FCCの適合」（28ページ）をご参照ください。

オーカム社は、本機のマグネットを、埋め込み型の心臓機器から 15 センチ以上離してご使用いただくことを推奨しております。体内ペースメーカーおよび/または除細動器と併用することに関する具体的なご質問は、かかりつけの医師または医療機関にご相談ください。

準備をしましょう

付属品

- ・オーカムマイリーダー本体（本機）
- ・充電器（ACアダプター）と充電用ケーブル
- ・マウント取り付け済みのサンプルメガネ
 - ※メガネのフレームに取り付ける、マグネットの受けの部品をマウントと呼びます。
 - ※本書では、メガネの耳にかける左右の部品を「フレーム」と呼びます。
- ・固定用ベルトが取り付けられた予備のマウント3個（※1個は中箱の中段の平らな箱の中に、はさみと一緒に入っています。あとの2個は革製キャリングケースの中に入っています。キャリングケースの中の2個のマウントは、固定ベルトがすでにリング状にしてあります。）
- ・革製キャリングケース
- ・ハサミ
- ・ストラップ
- ・ユーザーガイド（本書）と練習モード用冊子
- ・保証書

本機の部位とボタンの名称

外側（縦長のメガネに接しない面）:

- ① タッチバー
- ② LED インジケータ

内側（縦長のメガネフレームに接する面）:

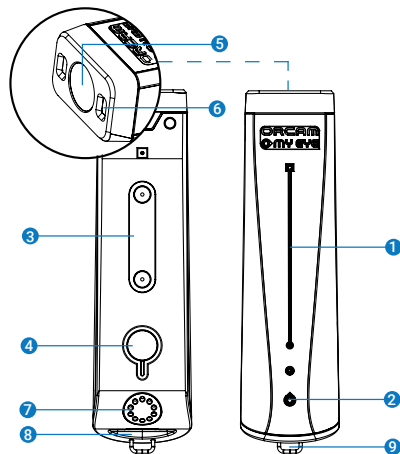
- ③ マウントに装着するためのマグネット
- ④ 電源ボタンとLEDインジケータ

前面:

- ⑤ カメラ
- ⑥ 暗いときに点灯する LEDライト

背面:

- ⑦ スピーカー
- ⑧ 充電用ポート（充電ケーブルの接続口）
- ⑨ ストラップを取り付けるための引き出せる小さな輪



マウントの取り付け

本機をお手持ちのメガネに装着するためには、固定ベルトが取り付けられた予備のマウントをメガネフレームに取り付ける必要があります。本機をしっかりと固定するために、幅の広いメガネフレームをお使いいただくことをお勧めします。

最初に、メガネフレームの右側または左側のどちらにマウントを取り付けるか決めます。

使用するものは、以下の4点です

1. お手持ちのメガネ
2. オーカムマイリーダー本体（本機）
※電源を切った状態
3. 固定用ベルトが取り付けられた予備のマウント
4. 付属のハサミ

以下は、メガネフレーム右側に取り付ける場合の手順です

- ① メガネフレームの右側のフレームをマウントの固定用ベルトの輪の中に通します。そのとき、マウントに付いている磁石と、本機についている磁石は、正しく取り付く向きがあるため、事前に本機の磁石とをマウントの磁石に合わせて、向きを確認します。
- ② 本機の前面（カメラがある面）をメガネで見る向きと合わせ、マウントを正しい位置に配置します。
- ③ マウント裏面に張り付いているシールを剥がし取ります。
- ④ マウントをメガネのフレームに押し付けます。このとき、本機がメガネフレームと平行であり、カメラが前方を向いていることを確認します。
- ⑤ 本機をマウントから外します。
- ⑥ マウントのベルトを引っ張り、マウントをフレームにしっかりと固定します。
- ⑦ 余分なベルトはマウントに近い位置で、ハ

サミを使って安全に切断してください。
これでマウントがメガネのフレームに固定され、本機を装着することができます。
メガネフレームはマウントを取り付けても、今まで通り折りたたむことができます。
マウント取り付けのビデオは

<https://www.orcam.com/ja/online-tutorials/>

をご覧ください。

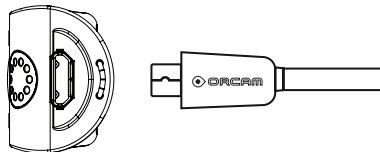
備考：本機をメガネフレームの左側に取り付ける場合も、本機がメガネフレームと平行であり、カメラが前方を向いていることを確認してください。

本機の充電

- 充電用ケーブルの角が丸い、小さい方の端子を本機の背面にある充電用ポート（USB接続口）に接続し、四角い方の端子を充電器に接続します。

ネックストラップを取り付ける場合は、ネックストラップが充電用ポートと充電用ケーブルの間に挟まらないように注意してください。

- 充電器をコンセントに差し込みます。本機を完全に充電するには約40分かかります。充電は事前に行い、いつでも使えるようにしてください。必ず付属の本機純正充電器を使用してください。



充電器情報

本機の充電器は100 – 240V, 50/60 Hzに対応しています。

本機の電源を入れる

- 本機の内側にある電源ボタンを約 2 秒間押します。

- ・電源ボタン近くにあるLEDランプが緑色に点灯します。
- ・約20秒後からピッピッという音が約1分間鳴った後、「オーカムマイリーダーバージョンXの準備完了。バッテリーが[XX]パーセント充電されました。」とメッセージが流れます。メッセージが聞こえない、または本機の電源が入っているか分からない場合は、タッチバーをタッチしてください。電源が入っている場合は、なんらかの応答があります。何も反応が無い場合は、再度電源ボタンを2秒間押し、電源を入れてください。

注意：電源を入れる際に、電源ボタンを何度も押したり、長押ししたりしないで下さい。LEDライトが点滅するなど、故障の原因になります。

本機の電源を切る

- ・電源ボタンを1回押します。「保留中、再度押ししてシャットダウンしてください」とメッセージが流れます。

- ・メッセージの後に電源ボタンを再度押します。「シャットダウンしています。お待ちください。」とメッセージが流れます。その後「電源オフ。さようなら。」とメッセージが流れて、電源が切れます。本機の電源を入れる、または切るときは、必ずメッセージを確認してください。

保留モードにする

- ・電源ボタンを1回押しと「保留中。再度押ししてシャットダウンしてください。」というメッセージが流れます。
- ・そのまま3秒間操作をしないと、「保留になっています。」というメッセージが流れません。

保留モードの終了

- ・タッチバーをダブルタップするか、本機の電源ボタンを1回押します。
- ・「ウェイクアップ中。バッテリーが [XX] パーセント充電されました。」というメッセージが流れます。

ジが流れます。

保留モード時の注意点：

- ・保留モードに入ってから10秒間、本機のタッチバーはタッチに反応しません。
- ・保留モードに入った本機が下を向いている場合、タッチバーは反応しません。
- ・電源ボタンを押せば、本機の保留モードは確実に解除出来ます。

自動保留モードと自動電源オフ

- ・本機は3分間何も動作がないと、小さくピッと音がした後、自動的に保留モードに切り替わります。この時間は設定メニューで変更できます。
- ・保留モードになってから3時間が経過すると、本機は自動的に電源が切れます。

実際に使ってみましょう

ジェスチャー

本機は簡単で分かり易いジェスチャーで操作することができます。

指差しのジェスチャー

何かを読みたい、または認識したい場合に、このジェスチャーをつかいます。本機は指でさした先の活字、文字情報を認識できます。カメラが指先をとらえると、本機はあなたがなにかを読んでほしい、あるいは何かを認識してほしいと理解します。

- ・人差し指を上向きに、爪がカメラに映るようにします。
- ・腕を前方に伸ばし、指先を目の高さまで上げてから、読みたい箇所を指さします。
- ・カメラが指先を検出すると、「ピピッ」という音が鳴ります。

- ・指をカメラの視野の外に動かします。カメラは視野の写真を撮り、音を数回鳴らしながら映像を処理します。



停止のジェスチャー

本機の読み上げを停止する場合に、このジェスチャーを使います。

- ・指を上に向けて手の甲が見えるように手を顔の前にかざして文字が見えないようにします。
- ・そのまま手を1～2秒間固定して下さい。



活字文章読み上げ

本機による活字文章の読み上げには4つの方法があります。

1. 指を差して読み取る

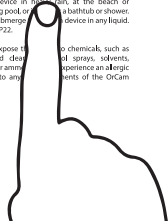
活字文章の段落を読むのに役立ちます。

- ・対象物を顔の正面 約 30センチのところに保持します。
- ・指差しジェスチャーを使って読みたい箇所を指差します。
- ・ピピッと音が聞こえたら、カメラの前から指を外します。
- ・次に、シャッター音がして本機は活字文章の写真を撮ります。
- ・処理中は何度か音がします。その後、読み取った活字文章を読み上げ、終わったらチャイムを鳴らします。

The OrCam device is water resistant but not waterproof. This means the device can withstand light rain or drizzle for short periods of time, although it is not recommended. Do not use the OrCam device in the ocean, at the beach or swimming pool, or as a bathtub or shower. Do not submerge the device in any liquid. IP Code: IP22.

Do not expose the device to household items, alcohol, or any reaction to any

chemicals, such as oil, sprays, solvents, or any other agents of the OrCam



2. 活字文章にタッチして読み取る

メニューや新聞の見出しなど、文章の特定の部分を読み取りたい時に使用できます。

- 本機の指差しジェスチャーで読み取りたい行の約3行下あるいは3行横に指を置き、ピピッと音が鳴るのを待ちます。指をそのまま置いておくことで、読み上げが開始されます。
- 次の活字文章を読む場合は、読み取りたい方向に

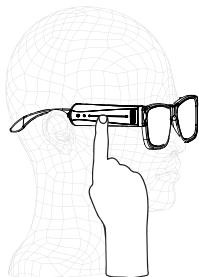
指をゆっくりスライドさせると、ピピッと音が鳴った後にオーカムマイリーダーが文章を続けて読み上げます。

3. タッチバー機能で読み取る

ページ全体、もしくは広い範囲を読み取りたいときに使用します。本機で読み取りたいものを見るか、読み取りたいものを本機の前にかざします。この時、読み取りたいものと本機との距離が近すぎると文字が読めない、もしくは、読める範囲が狭くなります。本機が上手く読み上げない場合は、読み取りたいものと本機との距離を少し離して再度試してください。読み取りたいものと本機との距離が遠すぎる場合は、文字を正しく読み上げない、もしくは読み間違いが多くなります。本機が上手く読み上げない場合は、読み取りたいものと本機との距離を少し近づけて再度試してください。

- バーに短く1回タッチします。カチッというタッチの認識音の後に、ピッと音が1回鳴ります。

- その後シャッター音が鳴り、カメラが写真を撮ります。
- ピッピッという音の後に本機がテキストを読み上げ、終わったらチャイムが鳴ります。



4. 自動ページ認識で読み取る

本機はハンズフリー（指差しを使わない）で活字文章を読み取ることもできます。この機能は出荷時の設定では無効になっていますが、設定メニューで有効にできます。

- 自動認識機能を有効にすると、本機で読み上げたい活字文章を数秒間直視すると、自動的にシャッター音がして、本機が活字文章の写真を撮影します。
- 写真撮影後に、本機は活字文章の読み上げを開始し、終わったらチャイムが鳴ります。

読み上げ時の操作

活字文章の読み上げ時には、次のような操作を行うことができます。

- 読み上げを一時停止する場合は、タッチバーを2回タップします。
- 読み上げを再開する場合は、タッチバーを2回タップします。
- 次の文にスキップする場合は、指をタッチバーに沿って前方にスワイプ（なぞる動作）します。（これは音量を上げる時と同じ動作です。）

これは音量を上げる時と同じ動作です。

- 前の文にスキップする場合は、指をタッチバ

ーに沿って後方にスワイプします。(これは音量を下げる時と同じ動作です。)

- ・ 読み上げを停止する場合は、バーにタッチするか、停止ジェスチャーをします。
- ・ 本機の読み上げが完了すると、チャイム音が鳴ります。

英語の読み上げ

- ・ 本機の日本仕様は、日本語だけでなく英語の活字文章でも読み上げる事ができます。

言語設定の変更は設定メニューから行えます。

- ・ 設定メニューのシステム言語設定は設定メニューのシステム言語設定から行えます。
- ・ 設定メニューのシステム言語設定は設定メニューのシステム言語設定から行えます。

快適に使いましょう

設定

設定メニュー項目

本機の設定は音声ガイダンスによる設定メニューでカスタマイズすることができます。設定メニューは、電源ボタンを押した状態で、指でタッチバーをスワイプしてから電源ボタンを離すとアクセスできます。設定メニューの各項目は以下の通りです。設定メニューを終了する場合は、タッチバーをダブルタップします。

設定メニュー項目一覧

1. 読み上げ速度設定

読み上げ速度は、1分あたり160語、200語、240語、280語、320語、360語、400語、440語、480語、520語の10段階で設定可能。

2. 音量設定 (ボリューム設定)

1 から10の10段階で調整可能。

- 音量の設定は、読み上げを行っていない時にいつでも変更できます。
- 音量を上げる場合は、タッチバーの線上の部分を後方から前方に指でスワイプ（なぞる動作）をします。
- 音量を下げる場合は、タッチバーの線上の部分を前方から後方に指でスワイプします。

3. 読み上げ設定

1. 日付形式の設定
2. 自動ページ認識の有効化/無効化設定
3. 自動ページ認識時間設定
4. 読み上げ時の操作の有効化/無効化設定
5. 読み上げ時の一時停止のビープ音設定
6. 読み上げ時の操作の一時停止時間設定
7. メインメニューに戻る

4. 言語設定

1. システム言語の変更
2. 読み上げ言語の変更
※実装言語は日本語のみとなっています。
3. メインメニューに戻る

5. ジェスチャー設定

1. 停止ジェスチャーの有効化/無効化設定
2. ジェスチャー感度レベル設定
3. メインメニューに戻る

6. 接続設定

1. Bluetooth（ブルートゥース）設定
* Bluetoothは、デジタル機器どうして接続を行うための近距離無線技術です。
2. WiFi設定
3. メインメニューに戻る

7. 一般設定

1. 音声メニュー
2. 日付と時刻設定
*バッテリーの残量が0になった場合、時間がリセットされることがあります。
3. 練習モード
4. 自動保留時間設定
5. 操作音（タッチバー音、処理サウンド）変更設定
6. すべてのユーザー設定をリセット（デフォルト）
7. カメラライトの互換性設定
8. ライトの状態通知の有効化/無効化
9. 自動フラッシュ設定
10. 音声コマンドの有効化/無効化
*日本語版では未実装の機能です
11. オーカム連絡先情報

12. インストール再試行リセットする
13. キューアールコードを読み取る
14. シリアル番号
15. バージョン情報
16. メインメニューに戻る

8. 設定メニューを終了する

練習モード

【顔認識は練習できません】

初めてお使いになる場合、本機の基本的な機能を学ぶ、あるいは特定の機能を使いこなす練習をするためには、設定メニューの一般設定メニューから練習モードにアクセスできません。

* このモードを活用するためには、専用の練習用冊子が必要です。

※オーカムマイリーダーでは顔認識機能がな
いため、練習モードの途中で抜ける必要があり
ます。この場合は、設定メニューに入る動
作（電源ボタンを押した状態で、タッチバー
をスワイプしてから電源ボタンを離す）を行
って下さい。

Bluetooth接続

・ 接続設定方法:

接続したいオーディオ機器をペアリング状態にします。

ペアリングするには、オーディオ機器のペアリングボタンを長押しします。

設定メニューの接続設定メニューから、Bluetooth設定を選択して下さい。

オーディオデバイスへの接続を選択して、接続する機器を選択して下さい。

備考:

オーディオ機器によってはオーカムの電源を入れる前にペアリングボタンをもう一度押す必要があります。

本機の電源を切ると、Bluetooth接続は解除されます。

再度、電源を入れた際に、Bluetooth接続を行うには、もう一度オーディオ機器とのペアリング設定が必要です。

本機の電源が入っている時、または保留モードから復帰した場合は、オーディオ機器のペアリングボタンを押すことで接続されます。

ソフトウェアのアップデート

本機のソフトウェアをWiFi経由で自動更新することができます。

更新を開始する前に、あなたがWiFiネットワークにアクセスできる環境にいることを確認してください。

あなたのWiFiネットワークを定義する：

- コンピューターまたはスマートフォンから、以下のアドレスに接続します。

<https://www.orcam.com/ja/wifiset>

- 画面の指示に従ってWiFiネットワークのネットワーク名とパスワードを入力し、QRコードの生成を実行します。

- QRコードが画面に表示されます。

本機での操作：

- 本機を充電器に接続します。
- 設定メニューを開きます。設定メニューを開くには、電源ボタンを押したままタッチバーをスワイプし、電源ボタンを放します。
- 設定メニューが開いたら、タッチバーをスワイプして一般設定メニューを開きます。さらにタッチバーをスワイプして、WiFi設定メニューを開きます。
- 音声ガイドに従って、コンピューターまたはスマートフォンの画面に表示されるQRコードを読み取ります。
- バーコードの読み取りができると、本機はWiFiに接続され、その後自動的にソフトウェアのアップデートが始まります。

一度、WiFiネットワークの定義が完了すると、本機は定義されたWiFiネットワークのエリア内で充電器に接続されるたびに、ソフトウェアのアップデートを確認し、自動的に最新バージョンに更新します。

ヒント

1. カメラのレンズを文字や対象物の方向にまっすぐに向ける。

本機の認識レベルを上げるには、カメラのレンズを文字や対象物の方向にまっすぐに向ける必要があります。また、レンズが汚れていたり、何らかの障害物で塞がれたりすることがないようにしてください。本機が読み上げや認識ができるのは、カメラが捉えた範囲にある文字または対象物のみです。

2. カメラが指先を検出すると、ピピッと音が鳴ります。

高い音は、カメラの視野の中央を指差してい

ることを知らせます。

フレームの縁に近付くほど音が低くなります。

3. ピピッと音が聞こえたら速やかにカメラの前から指を外す。

ピピッと音が聞こえたら速やかにカメラの前から指を外して、カメラで写真が撮れるようにしましょう。

4. 写真を撮っている間は、対象の文字または対象物を動かさない。

歩きながら指差したり、動いているものを指差したりすることはお勧めできません。

読み上げや認識ができないことがあります。

対象の文章を安定して保持できない場合は、書見台を使用することをお勧めします。

5. 読ませたい部分の上部から約1センチ下の列の中央を指差す。

確実に読み取るためには、読ませたい部分の上部から約1センチ下の列の中央を指差してください。

指差すときは実際に対象の文字または画面に触れる事をお勧めします。

6. カメラの視野内にページの 3つの角が映るようにする。

自動ページ認識をうまく行うためには、カメラの視野内にページの 3つの角が映るようにしてください。

カメラの視野は、レンズから約30センチの位置でA4のノートのサイズです。

※本体が正しく動作しない場合

1. 前面のLEDライトが点滅している場合、本体がフリーズするなど正しく動作しない場合は、電源ボタンを約20秒間長押しして、強制的に終了して下さい。その後再度電源ボタンを2秒間押しして電源を入れてください。

2. それでも正常に使用できる状態にならない場合は、バッテリーを完全に使い切り、その後、フル充電を行ってから、電源ボタンを2秒間押しして電源を入れてください。

その他のヒント、アドバイス、トラブルシューティングのサポートなどについては、

<https://www.orcam.com/ja/orcam-faq/> をご覧ください。

または地域の販売担当者及び販売店へお問い合わせください。

エンドユーザー利用規約

本機の使用は、オーカム社の利用規約の対象となります。

お客様の利用規約への合意が、本機を使用することの条件となります。

ユーザーガイドは、安全に関する重要な事項を含んでいます。

本機を使用する前にすべてを読んでご理解いただきますようお願いいたします。

ユーザーは、オーカム社の認定トレーナーによる実地トレーニングまたはオンラインによ

るオーカム社の認定トレーニングプログラムを受けることなく製品を使用することはできません。

以下のような状況で本機を使用した場合、オーカム社は一切の責任を負いません。

1. 本機がユーザーガイドの手順に従って使用されなかった場合、
 2. 生命や健康が危険にさらされている状況、または金銭的な損失に結び付く可能性のある状況のもとで本機を使用すること。
 3. 車や自転車の運転中または重機の操作中など、危険を伴う環境での使用。
- 歩行中であっても本機を使用する場合は、立ち止まって操作してください。
- 本機を使って医薬品のラベルを読み、その内容に従って薬を服用すること。

製品保証

オーカム社は、本書に明記されていない製品情報、機能、画像に対して、お客様への表明や保証を一切行いません。

本機のエンドユーザー向け限定製品保証（「限定保証」）では、所有者に対して、初回購入時、購入後2年間、さらに法律に定められた期間の材料また本製品の欠陥を保証します。

この保証を得るためには所有者は初の購入/配送の証明を提示する必要があります。

オーカム社は、独自の裁量により、本製品がこの「限定保証」の対象となると判断した場合、本製品の修理または交換を行います。

オーカム社は、意図的な損傷また誤用により生じた故障に対して一切の責任を負いません。所有者は、オーカム社が指定する場所への本製品の発送においてその送料を負担するものとします。

この「限定保証」は、本製品に関する唯一の排他的な保証です。第三者には本製品に関して、オーカム社に代わって、いかなる表明、保証、または合意を行う権限はありません。

ここに記載されている記述以外に、オーカム社が提示するいかなる種類または性質の保証もありません。

いかなる場合においても、本製品の使用に関して、特別な、付加的、間接的、偶発的、結果的、または懲罰的な損害に対して、オーカム社は責任を負わないものとします。

本契約に基づき、責任を制限する規定を制限することなく、以下の事象で発生した費用および費用について、限定保証は適用されません。

そのため、以下の事態から生じる費用と経費は、所有者がオーカム社に対し負担しなければなりません。

i. 本製品が、オーカム社の提供する文書およびエンドユーザー利用規約またはその他の書面による取扱説明書に準じて使用されていな

い場合

ii. 本製品が改ざん、誤用、過失、または事故にあった場合

iii. 本製品および部品の識別ラベルが剥がされたり、または製品に変更が加えられたりしている場合

iv. 本製品が、承認されたオーカム社の代理人以外の人物により開けられた、修正、修理、サービス、保守、または改変された場合

v. 本製品が、オーカム社が提供していない、またはオーカム社の認定した代理が書面で承認していないソフトウェア、ハードウェア、またはその他の機器と併用されている場合

vi. 本製品に意図的な破損がある、または水、熱、または高電圧の影響を受けた場合

vii. 本製品が、オーカム社の認定トレーナー™によるトレーニングを修了していない人物によって使用された場合

本保証に従って交換された部品は、元の保証

期間の残り期間または修理日から90日のいずれか長い方で保証の対象となります。本製品に保証サポートが必要であると思われる場合は、お近くの担当者にお問い合わせください。送料はお客様負担となります。

ただし、保証要求が有効であると判断された場合、オーカム社は修理又は交換された本製品の配送費用の全額を負担します。

オーカム社は、明示または黙示を問わず、第三者の権利を侵害しないこと、商品性、特定目的への適合性を黙示の保証を含みこれに限定されない一切の保証を否認します。

オーカム社は、本製品がエラーフリーまたは「バグ」のないこと、中断することなく動作すること、本製品が生成する画像またはサウンドが正確であること、本製品の動作が安全であることを保証しません。

そのため、一切の責任を否認します。このセクションは、適用される法律が許す最大限の範囲で執行されます。

安全規格FCCの適合

本機は、FCC 規則第15部クラスBデジタル機器の制限について検査が実施され、その制限に準拠していることが確認されています。

これらの制限は、居住地区での本製品使用における有害ノイズから適正に保護することを目的としています。

本製品は無線周波エネルギーを生成および使用し、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

ただし、特定の設置条件で干渉が発生しないという保証はありません。

本機がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合、（それは機器の電源をオン/オフにすることで確認できます）次のいずれかの対処法により干渉を軽減できる場合があります。

- ・受信アンテナの向きまたは位置を変える。
- ・機器と受信機との距離を離す。
- ・機器を受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続する。
- ・販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談する。

本製品は、FCC 規制の第15部に準拠しています。

本製品は、次の二つの条件下で使用される必要があります。

- (1) 本製品は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
- (2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、受信したどんな干渉にも耐えうるものでなければならない。

FCC 警告

オーカム社が明らかに承認していない変更は、FCC 規制に基づいて本製品を使用するユーザー権限を無効にする可能性があります。

注意：

オーカム社は、本製品に対する許可のない変更により引き起こされるラジオまたはテレビの干渉に対して責任を負いません。

そのような変更は装置を使用するユーザーの権限を無効にすることができます。

サポートについては、地域の営業担当者にお問い合わせください。

本社

OrCam Technologies
5 Kiryat HaMada St.
Jerusalem 9777513
Israel
+972.2.591.7800
support@orcaml.com

日本

OrCam Technologies Ltd.
日本営業所
東京都中央区銀座1丁目22-12
藤和銀座1丁目ビル8F
japan@orcaml.com



FCC ID:
2AAWI-MYEEY2RREV8



CE 適合

RoHS

特定有害物質使用制限指令準拠
(材料および構成部品)



電気製品の廃棄法令に準拠する適切な
廃棄方法については、お住まいの自治
体窓口にお問い合わせください。



Refer to User
Instruction Guide





 **ORCAM** | orcam.com |   